

年賀状じまい 文例集（全 18 文例）

年賀状じまいの文例 18 本です（個人 9・会社・仕事 6・受け取った側の返事 3）。氏名・社名はすべて架空です。
はがきの文例は句読点なしで、行の区切りは改行で表しています。LINE・メールの文例は句読点を使っています。
年賀状に添える文例の日付は「令和九年 元旦」、11 月のお知らせは「令和八年十一月」、寒中見舞いは「令和九年一月」です。
「メモ」の行は使い方の補足で、送る文面には入れません。

個人（文例 1～9）

文例 1 最後の年賀状に添える（目上にも使える基本形）

謹賀新年
旧年中は大変お世話になりました
誠に勝手ながら 今回をもちまして
年賀状でのご挨拶は失礼させていただきます
今後は折にふれてお便りやお電話で
ご挨拶できれば幸いです
変わらぬお付き合いのほど
よろしくお願い申し上げます
令和九年 元旦

文例 2 年齢を理由に（年賀状に添える）

謹賀新年
旧年中は温かいお心遣いをいただき
ありがとうございました
年齢を重ね 年賀状の準備も難しくなってまいりましたので
誠に勝手ながら 今回をもちまして
年始のご挨拶状は控えさせていただきます
これからもお電話などで近況をお伝えできれば幸いです
皆様のご健康をお祈り申し上げます
令和九年 元旦

文例 3 仕事・暮らしの変化を理由に（30～50 代・年賀状に添える）

あけましておめでとうございます
昨年も大変お世話になりました
近ごろはメールや SNS でやり取りすることが増えたため
年賀状でのご挨拶は今年から控えさせていただきます
これからは LINE やメールで近況をお知らせできればうれしいです
今年もどうぞよろしくお願い致します
令和九年 元旦

文例 4 友人へ（年賀状に添える・くだけた形）

あけましておめでとう
いつも年賀状をありがとう
突然だけど 年賀状は今年でお休みすることにしました
これからは LINE で連絡させてね
近いうちに会えたらうれしいです
今年もよろしくね

文例5 親戚へ（年賀状に添える）

謹んで新年のお慶びを申し上げます
旧年中は何かとお世話になりました
誠に勝手ながら 年賀状でのご挨拶は今回で失礼させていただきます
今後は電話や帰省の折に
近況をお伝えできればと思います
皆様のご健康とご多幸をお祈りしております
令和九年 元旦

文例6 恩師・お世話になった目上の方へ（年賀状に添える）

謹賀新年
先生にはいつも温かい年賀状をいただき
心より感謝しております
私事で恐縮ですが 年賀状でのご挨拶は今回をもちまして
控えさせていただくことにいたしました
今後はお手紙で 折にふれてご報告させていただければ幸いです
先生のご健康を心よりお祈り申し上げます
令和九年 元旦

文例7 年賀状を出す前に知らせる（11月のはがき）

師走を前に いかがお過ごしでしょうか
さて 誠に勝手ながら 私どもは次のお正月から
年賀状でのご挨拶を控えさせていただくことにいたしました
長年にわたり年始のご挨拶をいただき
ありがとうございました
今後はお電話やメールで
近況をお伝えできれば幸いです
変わらぬお付き合いを よろしく願いいたします
令和八年十一月

文例8 年賀状をいただいた方へ寒中見舞いで伝える（1月・松の内が明けてから）

寒中お見舞い申し上げます
ご丁寧な年賀状をいただき
ありがとうございました
誠に勝手ながら 本年より
年始のご挨拶状は控えさせていただくことにいたしました
お知らせが行き届かず失礼いたしました
今後はメールなどで近況をお伝えできればと思います
寒さ厳しき折 どうぞご自愛ください
令和九年一月

メモ: 松の内は一般に1月7日まで、関西など一部は1月15日までとされています。寒中見舞いは節分ごろまでに出します。

文例9 LINE・メールで伝える（友人）

あけましておめでとう！今年もよろしくね。
実は今年から、年賀状はお休みすることにしました。
これからはLINEで近況を送らせてね。
寒い日が続くので、体に気をつけて。

会社・仕事（文例10～15）

文例 10 取引先へ（11 月に送る挨拶状・会社名義・書状形式）

拝啓 晩秋の候 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます
平素は格別のご高配を賜り 厚く御礼申し上げます
さて 弊社では誠に勝手ながら 令和九年の年始より
年賀状によるご挨拶を控えさせていただくことといたしました
新年のご挨拶は メールにて申し上げます
これまで賜りましたご厚情に深く感謝申し上げますとともに
今後とも変わらぬお引き立てを賜りますよう お願い申し上げます
敬具
令和八年十一月
株式会社〇〇 代表取締役 山田 太郎

文例 11 最後の年賀状に添える（会社名義・業務の電子化を理由に）

謹賀新年
旧年中は格別のご高配を賜り 厚く御礼申し上げます
さて 弊社では業務の電子化と環境への配慮から
本年の年賀状をもちまして 年賀状によるご挨拶を控えさせていただくことといたしました
来年からはメールにて新年のご挨拶を申し上げます
本年も変わらぬお引き立てのほど
よろしくお願い申し上げます
令和九年 元旦

文例 12 個人事業主（年齢を理由に・11 月）

平素は大変お世話になっております
私事で恐縮ですが 年齢を重ね
年賀状の準備が難しくなっておりましてため
次の年始より 年賀状でのご挨拶を
控えさせていただくことにいたしました
仕事はこれまでどおり続けてまいりますので
今後ともよろしくお願い申し上げます
これまでのご厚誼に心より感謝申し上げます
令和八年十一月
〇〇事務所 山田 太郎

文例 13 定年退職を機に（個人から取引先・お世話になった方へ・11 月）

長年にわたり温かいご厚情を賜り
心より感謝申し上げます
私こと 本年十二月末日をもちまして定年退職いたします
これを機に 年賀状でのご挨拶を
控えさせていただきたく存じます
後任は佐藤が務めますので
変わらぬご指導をお願い申し上げます
貴社のご発展と皆様のご健勝を
お祈り申し上げます
令和八年十一月

文例 14 取引先へのメール（11月）

件名: 年賀状によるご挨拶についてのお知らせ（株式会社〇〇）
株式会社△△
〇〇様

いつもお世話になっております。株式会社〇〇の山田です。

誠に勝手ながら、弊社では2027年の年始より、年賀状によるご挨拶を控えさせていただくことといたしました。
新年のご挨拶は、メールにて申し上げます。
これまでいただきましたご厚情に深く感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬお付き合いのほど、よろしくお願い申し上げます。

株式会社〇〇 営業部 山田 太郎

文例 15 社内（社員どうしの年賀状のやり取りを控える案内）

件名: 社内での年賀状のやり取りについて
社員各位

総務部です。

2027年の年始から、社員どうし・上司あての年賀状のやり取りは、会社として控えることといたしました。
年賀状を出さないことで失礼にあたることはありません。新年のご挨拶は、仕事始めの朝礼やメールでお願いします。

これに合わせ、年賀状のための社員住所録の作成・配布はいたしません。
個人として出すことを妨げるものではありません。ご理解のほど、よろしくお願いします。

総務部 山田

メモ: 会社が私的な年賀状を禁じる形にはしていません。「虚礼廃止」の語を使うかどうかは会社の判断です。

受け取った側の返事（文例 16～18）

文例 16 友人から年賀状じまいの年賀状が届いた（LINE）

年賀状ありがとう！年賀状をお休みする件、了解です。
これからはLINEでよろしくね。今年もどうぞよろしく。

文例 17 目上・親戚から年賀状じまいの知らせが届いた（はがき・寒中見舞い）

寒中お見舞い申し上げます
ご丁寧なお知らせをいただき ありがとうございます
長年にわたり年始のご挨拶をいただき
心より感謝しております
これからも折にふれて
近況をお知らせできればうれしく存じます
どうぞお体を大切にお過ごしください
令和九年一月

文例 18 取引先から年賀状じまいの連絡が届いた（メール返信）

件名: Re: 年賀状によるご挨拶についてのお知らせ
〇〇様

いつもお世話になっております。株式会社△△の佐藤です。

ご丁寧にお知らせをいただき、ありがとうございます。
承知いたしました。弊社からの年始のご挨拶も、今後はメールにてお送りいたします。
今後とも変わらぬお付き合いのほど、よろしくお願い申し上げます。

株式会社△△ 佐藤 花子